

(2) 会場の基本構成軸

- 香流川に注ぐ谷地の入口と、海上地区を直線に結ぶと夏至の日の出の方向に一致する。海上地区と青少年公園を一体的な会場として構想する上で、この軸は重要な性格を有しており、愛知万博会場の「**テーマ軸**」として位置付ける。テーマ軸の西端には、「**西ゲート**」を設ける。
- 海上地区は、入退場口・管理機能を有する「**海上ゲート**」と、政府施設・愛知県施設が配置される「**国・県出展ゾーン**」、協会施設である市民交流プラザが配置される「**市民参加ゾーン**」、南地区を中心に自然を体感する「**里山遊歩ゾーン**」によって構成される。
- 青少年公園の正門入口は、青少年公園全体を展望し、また会場全体への結節点となっていることから、この公園の最南端の野球場台地と結ぶ線を、愛知万博会場の「**交流軸**」として位置付ける。また正門付近に「**北ゲート**」を設ける。
- テーマ軸と交流軸の交点に位置する区域は、アイスアリーナや温水プールのスポーツ交流施設や、こいの池や大芝生広場など、大量の人々の交流する機能空間を有していることから、この区域を、愛知万博会場の「**センターゾーン**」として位置付ける。
- センターゾーンの北側から西側の区域は、平地を積極的に活用した「**バビロンゾーン**」とし、都市的な性格と役割を持たせる。東側の区域は豊かな自然が残り、多様な動植物との共存が求められることから、「**森林体感ゾーン**」として位置付ける。

会場構成図

